

鳳秀太郎 ほうしゅう 電氣工學者、工學博士。明治五年一月一日大阪堺生
れ、昭和六年九月十七日歿（八七—一九三二）。與謝野晶子の長兄。第二
高等學校を經て、明治二十九年帝國大學工料大學電氣工學科卒。翌年
助教。のち米歐留學、歸朝後三十九年工學部教授、また海軍大學校
の囑託教授を兼任。妹晶子の結婚には反對し、終生義絶の儘過した。
時の自露の全戦役間を海外に過し、へ戦報に接しての悲喜は、家に在
る人々よりも更に深く、生涯の思ひ出となり、且はへ我士氣に與へた
る興奮と國民の自覺とといふ、へ精神上の効果を永久ならしめん、と、
『自露戰大戦餘響』（大正六年三月十五自博文館。歿後復刊・昭和七
年九月十七日鳳教授謝恩資金募集實行委員）を編輯出版した。
遺吟（歌句集）『白萩』（昭和七年九月十日鳳陽一刊）がある。

